

## 総務省地域情報化アドバイザー

### 優良事業事例

# 長崎県

# 新上五島町

派遣対応年度：令和3年度

地域情報化アドバイザー名：佐別当 隆志 氏

派遣回数：2回（オンライン支援）

支援形態：支援・助言

支援分野：シェアリングエコノミー

## 基礎情報

■人口：17,741名

■面積：213.99平方キロメートル

■主な産業：うどん製造業、漁業



## 優良事業概要

● **事業名** 空き家再生等推進事業

● **事業の概要**

空家実態調査による現状把握と課題整理をする。空家等対策基本計画策定に基づき空家等の適切な管理や利活用の促進などを実施する。

● **アドバイザーへの依頼内容**

空家等の利活用策の提案や民間企業との連携方法についての指導助言を依頼。



## 地域情報化アドバイザーから受けた支援内容

● **支援を受けた内容**

本町は人口17,700人余りの長崎県の離島にあり、人口減少や少子高齢化の進行は、町内のあらゆる分野で大きな影響を与えています。現在、本町は消滅可能性都市ワースト30、長崎県ではワーストワンに置かれている状況です。このような状況下、喫緊の対策として「若者定着」、「移住定住促進」、「空き家活用」などが課題解決の大きな糸口となっています。

対策の一つである空き家再生等推進事業では、県が所有する公舎を借用し、「お試し住宅」として移住希望者向けに一定期間貸し出しを行っています。移住定住の実現に繋げるため、より効果的な利活用が必要と考えていました。このような中、地域情報化アドバイザー派遣制度を活用し、民間企業において実施している、全国各地で展開している空き家の予約Webシステムを活用したシェアリングサービスや関係人口拡大の施策等についての事業内容の説明をいただきました。

都市部の若者は「地域住民との関わりを大切にしている傾向にある」という状況をどのように形にしているかということが、関係人口の拡大へ繋がることを認識し、対策へ繋げることができました。

## 支援を受けた事業の最新状況

### 空き家の利活用で地域住民との関わりが、関係人口拡大に！

令和2年度に実施した空家等実態調査に基づき、令和3年度は空き家等の適切な管理や利活用の促進などの方針を定めた空家等対策基本計画を策定することとなりました。

本町では空き家はあるものの、所有者は高齢化し、老朽化した物件も多い状況でした。また、空き家の改修費や解体費などの問題で利活用が進まない状況にありましたが、アドバイザーの派遣での助言により、長崎県所有の土地建物を活用している「お試し住宅」を購入する計画が叶いました。

この「お試し住宅」を移住希望者向けの体験スペースとして、地域住民と関わる活動ができるコワーキングスペース付き住宅に建て替える計画の基、現在、購入契約を進めているところです。

今後は、地域住民との関わりができる活動の機会を創り出し、新上五島町の活動と移住者との接点に新たな関係人口の拡大となる拠点づくりに貢献し、課題解決を図りたいと考えています。

## 地域情報化アドバイザー制度を知るきっかけ

APPLICのホームページを拝見しました。

移住定住促進について施策を講じている中で情報収集していたところ総務省ホームページからAPPLICに辿り着きました。

## 地域情報化アドバイザー制度に関する評価・感想

### ● 評価・感想

地域課題の解決の取り組みに対して、ノウハウを有する豊富な専門家を、アドバイザーとして派遣を受けられることで大きな成果が得られるので、再度活用したいと思っています。